

女子決勝 前半、ジャンプシュートを決めるレキオクラブの伊良波梨沙＝20日、八重瀬町東風平運動公園体育館



# B I C 競り勝ちV

## 女子はレキオク頂点

### 県総合ハンド

ハンドボールの第44回県Cが那覇西クラブに24-22総合選手権最終日は20で競り勝ち優勝。女子はレキオクラブがシーコルズに28-18で勝利し、優勝を決めた。

【男子】  
▽準決勝

那覇西ク 35 | 19 | 16 | 27 興南高

B I C 28 | 17 | 11 | 27 沖繩ク

▽決勝

B I C 24 | 15 | 11 | 22 那覇西ク

【女子】  
▽準決勝

シーコルズ 22 | 11 | 7 | 12 那覇西ク

レキオク 32 | 17 | 15 | 6 | 18 那覇西高

▽決勝

レキオク 28 | 17 | 7 | 11 | 18 シーコルズ

### 守り固め 一気逆転

男子・B I C

○：男子決勝は那覇西クラブが常にリードする展開となったが、これに食らい付いていたB I Cが相手に退場者が出た時間帯を使って追い付き、試合をひっくり返した。

流れを变える呼び水になったのは後半9分台からの攻防だった。那覇西クが5点を連取し、最も点差が開いた直後にB I Cが守りを立て直す。

ボールを奪い返すターン

女子のレキオクラブは、左右の45度を基点に、縦を鋭く突く攻撃で次第に点差を広げていった。

チームで追求している防御の間を抜く縦方向への攻撃が前半は出せずに苦しんだ。ハーフタイムに「横に流れすぎだ」という東江正作監督の指摘を全員で確認し、スペースを突く縦の動きを取り戻した。

左45度のエース佐久川かおりが持ち前のパスワークで得点機を演出すれば、逆の45度に入った伊良波梨沙が利き腕の左腕を存分に生かし、シユ

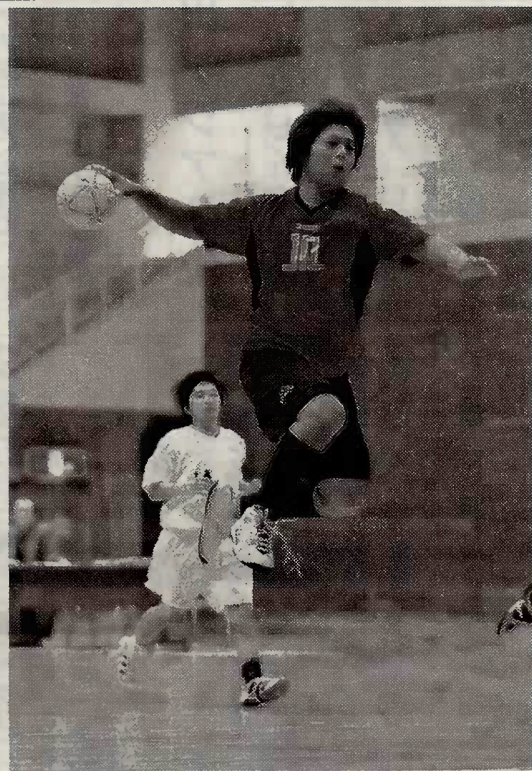
## 右45度伊良波 広角打ち分け

レキオク

1トを広角に打ち分けて加点した。

2人に守りが集まれば、ポストの石原昌恵、比嘉由紀乃へとパスして得点を引き出した。

勝負強さを発揮した伊良波は、けがと出産のフランクを経てチームに復帰してからちょうど1年がたったばかり。「今がベストの状態。練習に取り入れている体幹トレーニングの成果もあって、押されても我慢できるようにしている」。優勝のけん引役となった自らの働きに充実した表情を見せた。(新垣和也)



男子決勝 後半、速攻に出て得点を決めるB I Cの呉屋健太

「ティフエンスに重点を置いて取り組んだ成果が出せた」と振り返った。